

令和元年度 病院事業決算状況

都道府県名 鹿児島県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	鹿屋医療センター	2
-	大島病院	3
-	始良病院	4
-	薩南病院	5
-	北薩病院	6
鹿児島市	市立病院	7
枕崎市	市立病院	8
出水市	出水総合医療センター	9
垂水市	垂水中央病院	10
霧島市	医師会医療センター	11
南さつま市	市立坊津病院	12
肝付町	町立病院	13
公立種子島病院組合	公立種子島病院	14

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	鹿児島県
				市町村・組合名	
				病院名	鹿屋医療センター
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	13,834 m ²	指定病院の状況	救臨感へ災地輪		
診療科数	12	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	182	67.6	76.3	79.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	186	66.1	74.3	77.6
平均在院日数(一般病床のみ)		10.8	10.6	10.8

設立団体の状況		
人口(人)	1,648,177	
決算規模(千円)	769,705,576	
標準財政規模(千円)	475,775,190	
財政力指数	0.35148	
経常収支比率(%)	97.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.7
	将来負担比率(%)	217.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	87.3
修正医業収益(千円)	3,158,090

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,938,994			
1 経常収益	3,938,994			
(1) 医業収益	3,289,520			
入院収益	2,299,403			
外来収益	810,690			
診療収入計	3,110,093			
その他医業収益	179,427			
(うち他会計負担金)	131,430			
(2) 医業外収益	649,474			
(うち国・都道府県補助金)	17,929			
(うち他会計補助・負担金)	422,391			
(うち長期前受金戻入)	190,892			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,797,482			
2 経常費用	3,797,482			
(1) 医業費用	3,619,328			
職員給与費	2,005,452	61.0	55.7	61.3
材料費	782,408	23.8	24.7	17.6
(うち薬品費)	427,325	13.0	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	325,023	9.9	11.0	8.2
減価償却費	273,472	8.3	9.0	10.2
経費	548,551	16.7	23.3	30.5
(うち委託料)	239,902	7.3	11.5	13.0
研究研修費	7,711			
資産減耗費	1,734			
(2) 医業外費用	178,154			
(うち支払利息)	60,861	1.9	1.4	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	141,512			
純損益	141,512			
累積欠損金	5,734,780			
経常収支比率	103.7		97.7	96.5
医業収支比率	90.9		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	14.1		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	16.8		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	14.1		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	89.1		85.7	80.7

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	32,495,713
1 固定資産	21,161,866
(1) 有形固定資産	14,336,130
(2) 無形固定資産	8,315
(3) 投資その他の資産	6,817,421
2 流動資産	11,333,847
(1) 現金及び預金	10,051,146
(2) 未収金及び未収収益	1,260,860
(3) 貸倒引当金()	4,328
(4) 貯蔵品	25,626
3 繰延資産	-
負債合計	12,562,538
1 固定負債	6,621,920
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,379,745
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,242,175
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,716,581
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	676,659
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	624,240
(6) リース債務	759
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,330,629
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,224,037
(1) 長期前受金	10,855,231
(2) 長期前受金収益化累計額()	7,631,194
資本合計	19,933,175
1 資本金	27,078,812
2 剰余金	-7,145,637
(1) 資本剰余金	332,196
(2) 利益剰余金	-7,477,833
負債・資本合計	32,495,713
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	553,821	553,821
資本勘定繰入	254,046	254,046
計	807,867	807,867

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	45.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	鹿児島県
				市町村・組合名	
				病院名	大島病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	26,312 m ²	指定病院の状況	救臨感へ災地輪		
診療科数	20	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	331	73.6	83.5	90.1
療養	-	-	-	-
結核	15	3.4	6.5	5.9
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	350	69.7	78.8	84.9
平均在院日数(一般病床のみ)		13.2	13.8	13.6

設立団体の状況		
人口(人)	1,648,177	
決算規模(千円)	769,705,576	
標準財政規模(千円)	475,775,190	
財政力指数	0.35148	
経常収支比率(%)	97.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.7
	将来負担比率(%)	217.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	78.6
修正医業収益(千円)	6,009,500

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,714,331			
1 経常収益	7,714,331			
(1) 医業収益	6,569,173			
入院収益	4,371,403			
外来収益	1,533,687			
診療収入計	5,905,090			
その他医業収益	664,083			
(うち他会計負担金)	559,673			
(2) 医業外収益	1,145,158			
(うち国・都道府県補助金)	28,457			
(うち他会計補助・負担金)	878,296			
(うち長期前受金戻入)	194,924			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,922,434			
2 経常費用	7,922,434			
(1) 医業費用	7,649,101			
職員給与費	4,235,232	64.5	55.7	57.0
材料費	1,606,124	24.4	24.7	24.5
(うち薬品費)	883,413	13.4	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	648,036	9.9	11.0	11.3
減価償却費	461,526	7.0	9.0	9.3
経費	1,317,672	20.1	23.3	22.1
(うち委託料)	742,645	11.3	11.5	11.1
研究研修費	23,505			
資産減耗費	5,042			
(2) 医業外費用	273,333			
(うち支払利息)	4,148	0.1	1.4	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-208,103			
純損益	-208,103			
累積欠損金	-			
経常収支比率	97.4		97.7	96.4
医業収支比率	85.9		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	18.6		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	21.9		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	18.6		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	79.2		85.7	85.3

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	32,495,713
1 固定資産	21,161,866
(1) 有形固定資産	14,336,130
(2) 無形固定資産	8,315
(3) 投資その他の資産	6,817,421
2 流動資産	11,333,847
(1) 現金及び預金	10,051,146
(2) 未収金及び未収収益	1,260,860
(3) 貸倒引当金()	4,328
(4) 貯蔵品	25,626
3 繰延資産	-
負債合計	12,562,538
1 固定負債	6,621,920
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,379,745
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,242,175
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,716,581
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	676,659
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	624,240
(6) リース債務	759
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,330,629
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,224,037
(1) 長期前受金	10,855,231
(2) 長期前受金収益化累計額()	7,631,194
資本合計	19,933,175
1 資本金	27,078,812
2 剰余金	-7,145,637
(1) 資本金剰余金	332,196
(2) 利益剰余金	-7,477,833
負債・資本合計	32,495,713
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,437,969	1,437,969
資本勘定繰入	140,689	140,689
計	1,578,658	1,578,658

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	45.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	鹿児島県
		市町村・組合名	
		病院名	始良病院
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	15,404 m ²	指定病院の状況	
診療科数	2	看護配置	15:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	精神病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	334	75.8	94.2	95.6
感染症	-	-	-	-
計	334	75.8	94.2	95.6
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,648,177	
決算規模(千円)	769,705,576	
標準財政規模(千円)	475,775,190	
財政力指数	0.35148	
経常収支比率(%)	97.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.7
	将来負担比率(%)	217.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	91.0
修正医業収益(千円)	2,281,853

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,176,835			
1 経常収益	3,176,835			
(1) 医業収益	2,297,207			
入院収益	1,916,310			
外来収益	356,082			
診療収入計	2,272,392			
その他医業収益	24,815			
(うち他会計負担金)	15,354			
(2) 医業外収益	879,628			
(うち国・都道府県補助金)	3,591			
(うち他会計補助・負担金)	766,570			
(うち長期前受金戻入)	89,367			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,587,442			
2 経常費用	2,587,442			
(1) 医業費用	2,506,318			
職員給与費	1,671,409	72.8	55.7	98.9
材料費	334,986	14.6	24.7	8.8
(うち薬品費)	259,274	11.3	13.3	6.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	12,342	0.5	11.0	1.1
減価償却費	139,486	6.1	9.0	12.7
経費	351,363	15.3	23.3	34.6
(うち委託料)	185,192	8.1	11.5	17.1
研究研修費	7,971			
資産減耗費	1,103			
(2) 医業外費用	81,124			
(うち支払利息)	6,856	0.3	1.4	2.9
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	589,393			
純損益	589,393			
累積欠損金	-			
経常収支比率	122.8		97.7	98.9
医業収支比率	91.7		88.1	64.2
他会計繰入金対経常収益比率	24.6		12.3	35.0
他会計繰入金対医業収益比率	34.0		14.5	56.2
他会計繰入金対総収益比率	24.6		12.4	34.4
実質収益対経常費用比率	92.6		85.7	64.3

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	32,495,713
1 固定資産	21,161,866
(1) 有形固定資産	14,336,130
(2) 無形固定資産	8,315
(3) 投資その他の資産	6,817,421
2 流動資産	11,333,847
(1) 現金及び預金	10,051,146
(2) 未収金及び未収収益	1,260,860
(3) 貸倒引当金()	4,328
(4) 貯蔵品	25,626
3 繰延資産	-
負債合計	12,562,538
1 固定負債	6,621,920
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,379,745
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,242,175
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,716,581
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	676,659
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	624,240
(6) リース債務	759
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,330,629
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,224,037
(1) 長期前受金	10,855,231
(2) 長期前受金収益化累計額()	7,631,194
資本合計	19,933,175
1 資本金	27,078,812
2 剰余金	-7,145,637
(1) 資本剰余金	332,196
(2) 利益剰余金	-7,477,833
負債・資本合計	32,495,713
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	781,924	781,924
資本勘定繰入	166,651	166,651
計	948,575	948,575

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	45.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	鹿児島県
				市町村・組合名	
				病院名	薩南病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	11,540 m ²	指定病院の状況	救臨感へ災地輪		
診療科数	10	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	151	61.4	79.7	79.9
療養	-	-	-	-
結核	20	6.5	15.1	2.7
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	175	53.7	68.2	66.6
平均在院日数(一般病床のみ)		13.4	14.1	14.1

設立団体の状況		
人口(人)		1,648,177
決算規模(千円)		769,705,576
標準財政規模(千円)		475,775,190
財政力指数		0.35148
経常収支比率(%)		97.9
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.7
	将来負担比率(%)	217.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	85.6
修正医業収益(千円)	2,471,375

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,893,950			
1 経常収益	2,893,950			
(1) 医業収益	2,583,354			
入院収益	1,708,429			
外来収益	723,939			
診療収入計	2,432,368			
その他医業収益	150,986			
(うち他会計負担金)	111,979			
(2) 医業外収益	310,596			
(うち国・都道府県補助金)	2,291			
(うち他会計補助・負担金)	245,205			
(うち長期前受金戻入)	50,346			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,991,054			
2 経常費用	2,991,054			
(1) 医業費用	2,886,531			
職員給与費	1,536,385	59.5	55.7	61.3
材料費	771,218	29.9	24.7	17.6
(うち薬品費)	399,384	15.5	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	348,507	13.5	11.0	8.2
減価償却費	177,662	6.9	9.0	10.2
経費	388,093	15.0	23.3	30.5
(うち委託料)	202,057	7.8	11.5	13.0
研究研修費	5,760			
資産減耗費	7,413			
(2) 医業外費用	104,523			
(うち支払利息)	105	-	1.4	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-97,104			
純損益	-97,104			
累積欠損金	1,807,913			
経常収支比率	96.8		97.7	96.5
医業収支比率	89.5		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	12.3		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	13.8		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	12.3		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	84.8		85.7	80.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	32,495,713
1 固定資産	21,161,866
(1) 有形固定資産	14,336,130
(2) 無形固定資産	8,315
(3) 投資その他の資産	6,817,421
2 流動資産	11,333,847
(1) 現金及び預金	10,051,146
(2) 未収金及び未収収益	1,260,860
(3) 貸倒引当金()	4,328
(4) 貯蔵品	25,626
3 繰延資産	-
負債合計	12,562,538
1 固定負債	6,621,920
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,379,745
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,242,175
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,716,581
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	676,659
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	624,240
(6) リース債務	759
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,330,629
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,224,037
(1) 長期前受金	10,855,231
(2) 長期前受金収益化累計額()	7,631,194
資本合計	19,933,175
1 資本金	27,078,812
2 剰余金	-7,145,637
(1) 資本剰余金	332,196
(2) 利益剰余金	-7,477,833
負債・資本合計	32,495,713
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	357,184	357,184
資本勘定繰入	38,897	38,897
計	396,081	396,081

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	45.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
 占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	鹿児島県
				市町村・組合名	
				病院名	北薩病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	11,704 m ²	指定病院の状況	救臨	感へ災	輪
診療科数	9	看護配置	7	:	1
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	146	56.5	78.0	75.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	150	54.9	75.2	72.5
平均在院日数(一般病床のみ)		18.4	17.5	16.8

設立団体の状況		
人口(人)		1,648,177
決算規模(千円)		769,705,576
標準財政規模(千円)		475,775,190
財政力指数		0.35148
経常収支比率(%)		97.9
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.7
	将来負担比率(%)	217.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	77.6
修正医業収益(千円)	1,539,203

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,924,804			
1 経常収益	1,924,804			
(1) 医業収益	1,648,833			
入院収益	1,056,788			
外来収益	441,534			
診療収入計	1,498,322			
その他医業収益	150,511			
(うち他会計負担金)	109,630			
(2) 医業外収益	275,971			
(うち国・都道府県補助金)	2,014			
(うち他会計補助・負担金)	233,271			
(うち長期前受金戻入)	29,670			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,039,985			
2 経常費用	2,039,985			
(1) 医業費用	1,984,675			
職員給与費	1,272,578	77.2	55.7	61.3
材料費	243,343	14.8	24.7	17.6
(うち薬品費)	149,077	9.0	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	75,390	4.6	11.0	8.2
減価償却費	117,104	7.1	9.0	10.2
経費	344,401	20.9	23.3	30.5
(うち委託料)	195,760	11.9	11.5	13.0
研究研修費	5,479			
資産減耗費	1,770			
(2) 医業外費用	55,310			
(うち支払利息)	39	-	1.4	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-115,181			
純損益	-115,181			
累積欠損金	6,146,420			
経常収支比率	94.4		97.7	96.5
医業収支比率	83.1		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	17.8		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	20.8		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	17.8		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	77.5		85.7	80.7

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	32,495,713
1 固定資産	21,161,866
(1) 有形固定資産	14,336,130
(2) 無形固定資産	8,315
(3) 投資その他の資産	6,817,421
2 流動資産	11,333,847
(1) 現金及び預金	10,051,146
(2) 未収金及び未収収益	1,260,860
(3) 貸倒引当金()	4,328
(4) 貯蔵品	25,626
3 繰延資産	-
負債合計	12,562,538
1 固定負債	6,621,920
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,379,745
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,242,175
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,716,581
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	676,659
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	624,240
(6) リース債務	759
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,330,629
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,224,037
(1) 長期前受金	10,855,231
(2) 長期前受金収益化累計額()	7,631,194
資本合計	19,933,175
1 資本金	27,078,812
2 剰余金	-7,145,637
(1) 資本剰余金	332,196
(2) 利益剰余金	-7,477,833
負債・資本合計	32,495,713
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	342,901	342,901
資本勘定繰入	29,853	29,853
計	372,754	372,754

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	45.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	鹿児島県
				市町村・組合名	鹿児島市
				病院名	市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	51,227 m ²	指定病院の状況	救臨が感災地		
診療科数	32	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	568	90.5	90.5	91.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	-	1.4	-
計	574	89.6	89.6	90.5
平均在院日数(一般病床のみ)		11.5	11.7	11.8

設立団体の状況		
人口(人)	599,814	
決算規模(千円)	260,388,458	
標準財政規模(千円)	131,713,726	
財政力指数	0.73	
経常収支比率(%)	92.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	2.5
	将来負担比率(%)	30.0

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	21,831,188			
1 経常収益	21,831,012			
(1) 医業収益	20,592,742			
入院収益	15,175,887			
外来収益	4,997,992			
診療収入計	20,173,879			
その他医業収益	418,863			
(うち他会計負担金)	164,050			
(2) 医業外収益	1,238,270			
(うち国・都道府県補助金)	412,166			
(うち他会計補助・負担金)	565,225			
(うち長期前受金戻入)	89,005			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	176			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	22,062,157			
2 経常費用	22,054,490			
(1) 医業費用	20,844,876			
職員給与費	8,792,178	42.7	55.7	49.1
材料費	6,199,204	30.1	24.7	29.1
(うち薬品費)	3,252,189	15.8	13.3	16.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,942,845	14.3	11.0	12.7
減価償却費	1,689,409	8.2	9.0	8.4
経費	4,043,135	19.6	23.3	20.7
(うち委託料)	1,583,903	7.7	11.5	11.6
研究研修費	98,669			
資産減耗費	22,281			
(2) 医業外費用	1,209,614			
(うち支払利息)	292,984	1.4	1.4	1.2
(3) 特別損失	7,667			
損益				
経常損益	-223,478			
純損益	-230,969			
累積欠損金	-			
経常収支比率	99.0		97.7	98.8
医業収支比率	98.8		88.1	92.5
他会計繰入金対経常収益比率	3.3		12.3	9.0
他会計繰入金対医業収益比率	3.5		14.5	10.1
他会計繰入金対総収益比率	3.3		12.4	8.9
実質収益対経常費用比率	95.7		85.7	89.9

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	39,876,276
1 固定資産	24,359,530
(1) 有形固定資産	23,382,436
(2) 無形固定資産	155
(3) 投資その他の資産	976,939
2 流動資産	15,516,746
(1) 現金及び預金	11,946,674
(2) 未収金及び未収収益	3,420,069
(3) 貸倒引当金()	6,797
(4) 貯蔵品	156,321
3 繰延資産	-
負債合計	30,031,975
1 固定負債	25,236,520
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	20,679,514
(2) その他の企業債	691,820
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,865,186
(7) リース債務	-
2 流動負債	3,384,683
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,023,632
(2) その他の企業債	120,820
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	595,614
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,574,435
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,410,772
(1) 長期前受金	2,356,748
(2) 長期前受金収益化累計額()	945,976
資本合計	9,844,301
1 資本金	7,748,856
2 剰余金	2,095,445
(1) 資本金剰余金	267,260
(2) 利益剰余金	1,828,185
負債・資本合計	39,876,276
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	98.0
修正医業収益(千円)	20,428,692

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	759,466	729,275
資本勘定繰入	373,100	308,833
計	1,132,566	1,038,108

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	鹿児島県
				市町村・組合名	枕崎市
				病院名	市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種	該当	
建物面積	3,618 m ²	指定病院の状況	救	輪	
診療科数	1	看護配置	10	: 1	
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	20	88.6	90.9	87.7
療養	35	87.8	86.8	92.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	55	88.1	88.3	91.0
平均在院日数(一般病床のみ)		19.0	19.1	21.4

設立団体の状況		
人口(人)	22,046	
決算規模(千円)	14,484,360	
標準財政規模(千円)	6,016,453	
財政力指数	0.42	
経常収支比率(%)	93.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.9
	将来負担比率(%)	56.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	79.2
修正医業収益(千円)	502,996

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	662,510			
1 経常収益	662,510			
(1) 医業収益	517,007			
入院収益	373,614			
外来収益	116,619			
診療収入計	490,233			
その他医業収益	26,774			
(うち他会計負担金)	14,011			
(2) 医業外収益	145,503			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	101,177			
(うち長期前受金戻入)	27,954			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	667,272			
2 経常費用	667,272			
(1) 医業費用	634,760			
職員給与費	326,381	63.1	55.7	72.6
材料費	38,635	7.5	24.7	15.8
(うち薬品費)	20,802	4.0	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	17,833	3.4	11.0	5.6
減価償却費	55,872	10.8	9.0	11.1
経費	207,550	40.1	23.3	31.9
(うち委託料)	116,032	22.4	11.5	13.0
研究研修費	5,919			
資産減耗費	403			
(2) 医業外費用	32,512			
(うち支払利息)	10,092	2.0	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-4,762			
純損益	-4,762			
累積欠損金	-			
経常収支比率	99.3		97.7	97.4
医業収支比率	81.4		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	17.4		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	22.3		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	17.4		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	82.0		85.7	74.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,259,559
1 固定資産	799,186
(1) 有形固定資産	799,113
(2) 無形固定資産	73
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	460,373
(1) 現金及び預金	369,928
(2) 未収金及び未収収益	84,022
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	4,435
3 繰延資産	-
負債合計	933,078
1 固定負債	516,118
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	470,288
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	29,062
(7) リース債務	16,768
2 流動負債	81,650
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	21,514
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	21,543
(6) リース債務	13,754
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	20,182
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	335,310
(1) 長期前受金	509,901
(2) 長期前受金収益化累計額()	174,591
資本合計	326,481
1 資本金	102,295
2 剰余金	224,186
(1) 資本金剰余金	157,402
(2) 利益剰余金	66,784
負債・資本合計	1,259,559
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	115,188	115,188
資本勘定繰入	13,821	7,720
計	129,009	122,908

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	鹿児島県
				市町村・組合名	出水市
				病院名	出水総合医療センター
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	19,861 m ²	指定病院の状況	救臨感へ災地輪		
診療科数	20	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	270	57.2	61.8	61.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	0.1	-	-
計	274	56.4	60.9	60.3
平均在院日数(一般病床のみ)		19.3	19.3	18.8

設立団体の状況		
人口(人)	53,758	
決算規模(千円)	29,372,898	
標準財政規模(千円)	15,708,167	
財政力指数	0.42	
経常収支比率(%)	94.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.3
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,967,367			
1 経常収益	4,587,495			
(1) 医業収益	3,943,204			
入院収益	2,599,053			
外来収益	1,202,891			
診療収入計	3,801,944			
その他医業収益	141,260			
(うち他会計負担金)	55,159			
(2) 医業外収益	644,291			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	331,126			
(うち長期前受金戻入)	160,245			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	379,872			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,587,134			
2 経常費用	4,444,833			
(1) 医業費用	4,183,740			
職員給与費	2,071,407	52.5	55.7	59.8
材料費	797,715	20.2	24.7	19.0
(うち薬品費)	390,877	9.9	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	362,490	9.2	11.0	9.2
減価償却費	224,896	5.7	9.0	9.9
経費	1,067,578	27.1	23.3	27.7
(うち委託料)	218,472	5.5	11.5	12.4
研究研修費	6,646			
資産減耗費	15,498			
(2) 医業外費用	261,093			
(うち支払利息)	64,462	1.6	1.4	1.5
(3) 特別損失	142,301			
損益				
経常損益	142,662			
純損益	380,233			
累積欠損金	1,515,092			
経常収支比率	103.2		97.7	96.3
医業収支比率	94.3		88.1	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	8.4		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	9.8		14.5	15.9
他会計繰入金対総収益比率	7.8		12.4	13.4
実質収益対経常費用比率	94.5		85.7	83.5

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,070,068
1 固定資産	3,003,145
(1) 有形固定資産	2,889,692
(2) 無形固定資産	14,129
(3) 投資その他の資産	99,324
2 流動資産	1,066,923
(1) 現金及び預金	427,169
(2) 未収金及び未収収益	620,297
(3) 貸倒引当金()	896
(4) 貯蔵品	16,758
3 繰延資産	-
負債合計	5,479,631
1 固定負債	4,068,968
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,327,091
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	1,572,000
(6) 引当金	1,169,349
(7) リース債務	-
2 流動負債	850,177
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	452,191
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	188,803
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	195,025
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	560,486
(1) 長期前受金	1,513,134
(2) 長期前受金収益化累計額()	952,648
資本合計	-1,409,563
1 資本金	94,938
2 剰余金	-1,504,501
(1) 資本剰余金	2,278
(2) 利益剰余金	-1,506,779
負債・資本合計	4,070,068
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	1,409,563
資本不足額(繰延収益控除後)()	849,077
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	92.9
修正医業収益(千円)	3,888,045

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	492,999	386,285
資本勘定繰入	238,326	238,326
計	731,325	624,611

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	38.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	鹿児島県
				市町村・組合名	垂水市
				病院名	垂水中央病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	8,756 m ²	指定病院の状況	救臨へ輪		
診療科数	14	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	91	85.6	88.4	93.0
療養	35	88.5	85.1	86.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	126	86.4	87.5	91.2
平均在院日数(一般病床のみ)		18.4	18.5	19.1

設立団体の状況		
人口(人)	15,520	
決算規模(千円)	13,142,565	
標準財政規模(千円)	5,245,553	
財政力指数	0.30	
経常収支比率(%)	92.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.2
	将来負担比率(%)	28.6

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	279,109			
1 経常収益	279,079			
(1) 医業収益	42,933			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	42,933			
(うち他会計負担金)	42,933			
(2) 医業外収益	236,146			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	140,082			
(うち長期前受金戻入)	63,107			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	30			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	249,932			
2 経常費用	249,897			
(1) 医業費用	235,610			
職員給与費	-	-	55.7	61.3
材料費	-	-	24.7	17.6
(うち薬品費)	-	-	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	8.2
減価償却費	124,440	289.8	9.0	10.2
経費	109,933	256.1	23.3	30.5
(うち委託料)	-	-	11.5	13.0
研究研修費	-	-		
資産減耗費	1,237			
(2) 医業外費用	14,287			
(うち支払利息)	10,107	23.5	1.4	1.6
(3) 特別損失	35			
損益				
経常損益	29,182			
純損益	29,177			
累積欠損金	-			
経常収支比率	111.7		97.7	96.5
医業収支比率	18.2		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	65.6		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	426.3		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	65.6		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	38.4		85.7	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,526,840
1 固定資産	1,117,779
(1) 有形固定資産	1,117,229
(2) 無形固定資産	550
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	409,061
(1) 現金及び預金	327,373
(2) 未収金及び未収収益	82,590
(3) 貸倒引当金()	902
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	1,026,855
1 固定負債	756,105
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	756,105
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	218,135
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	90,497
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	127,438
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	52,615
(1) 長期前受金	328,480
(2) 長期前受金収益化累計額()	275,865
資本合計	499,985
1 資本金	362,950
2 剰余金	137,035
(1) 資本金剰余金	113,365
(2) 利益剰余金	23,670
負債・資本合計	1,526,840
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	183,015	183,015
資本勘定繰入	27,179	27,179
計	210,194	210,194

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	鹿児島県
				市町村・組合名	霧島市
				病院名	医師会医療センター
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	14,612 m ²	指定病院の状況	救臨感へ災地輪		
診療科数	16	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	指定管理者(代行制)		
DPC対象病院	対象	類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	250	91.6	88.5	85.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	254	90.1	87.1	83.7
平均在院日数(一般病床のみ)		16.2	16.7	13.9

設立団体の状況		
人口(人)	125,857	
決算規模(千円)	60,944,660	
標準財政規模(千円)	33,706,815	
財政力指数	0.56	
経常収支比率(%)	92.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.7
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,804,091			
1 経常収益	5,804,091			
(1) 医業収益	5,574,626			
入院収益	4,186,500			
外来収益	1,272,732			
診療収入計	5,459,232			
その他医業収益	115,394			
(うち他会計負担金)	22,940			
(2) 医業外収益	229,465			
(うち国・都道府県補助金)	2,624			
(うち他会計補助・負担金)	144,370			
(うち長期前受金戻入)	22,520			
(うち資本費繰入収益)	51,319			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,716,830			
2 経常費用	5,686,056			
(1) 医業費用	5,460,699			
職員給与費	17,447	0.3	55.7	59.8
材料費	-	-	24.7	19.0
(うち薬品費)	-	-	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	9.2
減価償却費	287,632	5.2	9.0	9.9
経費	5,155,116	92.5	23.3	27.7
(うち委託料)	2,146,354	38.5	11.5	12.4
研究研修費	-			
資産減耗費	504			
(2) 医業外費用	225,357			
(うち支払利息)	19,534	0.4	1.4	1.5
(3) 特別損失	30,774			
損益				
経常損益	118,035			
純損益	87,261			
累積欠損金	-			
経常収支比率	102.1		97.7	96.3
医業収支比率	102.1		88.1	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	2.9		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	3.0		14.5	15.9
他会計繰入金対総収益比率	2.9		12.4	13.4
実質収益対経常費用比率	99.1		85.7	83.5

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	7,253,429
1 固定資産	4,113,028
(1) 有形固定資産	4,113,028
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	3,140,401
(1) 現金及び預金	2,283,290
(2) 未収金及び未収収益	857,615
(3) 貸倒引当金()	604
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	2,055,889
1 固定負債	954,104
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	954,104
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	677,555
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	139,521
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,410
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	536,524
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	424,230
(1) 長期前受金	899,958
(2) 長期前受金収益化累計額()	475,728
資本合計	5,197,540
1 資本金	1,783,933
2 剰余金	3,413,607
(1) 資本金剰余金	921,318
(2) 利益剰余金	2,492,289
負債・資本合計	7,253,429
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	101.7
修正医業収益(千円)	5,551,686

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	167,310	167,310
資本勘定繰入	82,096	51,319
計	249,406	218,629

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	鹿児島県
	市町村・組合名	南さつま市
	病院名	市立坊津病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	26	72.7	91.8	82.7
療養	18	70.3	71.6	73.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	44	71.1	77.6	76.1
平均在院日数(一般病床のみ)		21.5	21.9	19.4

設立団体の状況		
人口(人)	35,439	
決算規模(千円)	28,520,657	
標準財政規模(千円)	12,997,017	
財政力指数	0.28	
経常収支比率(%)	92.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.7
	将来負担比率(%)	-

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	2,597 m ²	指定病院の状況	救 輪
診療科数	2	看護配置	13:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	61.7
修正医業収益(千円)	250,389

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	423,738			
1 経常収益	423,738			
(1) 医業収益	286,683			
入院収益	173,935			
外来収益	67,294			
診療収入計	241,229			
その他医業収益	45,454			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	137,055			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	110,859			
(うち長期前受金戻入)	13,091			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	410,488			
2 経常費用	410,488			
(1) 医業費用	405,833			
職員給与費	240,172	83.8	55.7	80.8
材料費	12,481	4.4	24.7	13.8
(うち薬品費)	8,629	3.0	13.3	8.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	3,852	1.3	11.0	4.9
減価償却費	20,216	7.1	9.0	12.9
経費	132,564	46.2	23.3	47.4
(うち委託料)	34,926	12.2	11.5	20.7
研究研修費	190			
資産減耗費	210			
(2) 医業外費用	4,655			
(うち支払利息)	4,655	1.6	1.4	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	13,250			
純損益	13,250			
累積欠損金	98,570			
経常収支比率	103.2		97.7	96.7
医業収支比率	70.6		88.1	63.9
他会計繰入金対経常収益比率	34.7		12.3	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	51.3		14.5	54.2
他会計繰入金対総収益比率	34.7		12.4	34.7
実質収益対経常費用比率	67.4		85.7	64.2

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	654,290
1 固定資産	523,020
(1) 有形固定資産	523,020
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	131,270
(1) 現金及び預金	88,315
(2) 未収金及び未収収益	42,237
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	718
3 繰延資産	-
負債合計	400,860
1 固定負債	206,311
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	204,090
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,221
(7) リース債務	-
2 流動負債	40,969
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	13,756
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	14,488
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	12,725
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	153,580
(1) 長期前受金	240,425
(2) 長期前受金収益化累計額()	86,845
資本合計	253,430
1 資本金	321,388
2 剰余金	-67,958
(1) 資本剰余金	3,492
(2) 利益剰余金	-71,450
負債・資本合計	654,290
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	147,153	147,153
資本勘定繰入	22,721	22,721
計	169,874	169,874

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	34.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	鹿児島県
				市町村・組合名	肝付町
				病院名	町立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種	該当	
建物面積	2,371 m ²	指定病院の状況	救		
診療科数	5	看護配置	15	: 1	
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	40	73.4	85.3	87.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	40	73.4	85.3	87.2
平均在院日数(一般病床のみ)		20.6	20.1	23.8

設立団体の状況		
人口(人)	15,664	
決算規模(千円)	11,760,671	
標準財政規模(千円)	5,830,409	
財政力指数	0.29	
経常収支比率(%)	93.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.0
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	62.8
修正医業収益(千円)	358,073

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	518,603			
1 経常収益	518,603			
(1) 医業収益	416,062			
入院収益	219,907			
外来収益	129,678			
診療収入計	349,585			
その他医業収益	66,477			
(うち他会計負担金)	57,989			
(2) 医業外収益	102,541			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	92,707			
(うち長期前受金戻入)	7,322			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	584,401			
2 経常費用	582,875			
(1) 医業費用	569,822			
職員給与費	320,145	76.9	55.7	80.8
材料費	62,801	15.1	24.7	13.8
(うち薬品費)	41,966	10.1	13.3	8.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	20,835	5.0	11.0	4.9
減価償却費	26,524	6.4	9.0	12.9
経費	159,810	38.4	23.3	47.4
(うち委託料)	45,610	11.0	11.5	20.7
研究研修費	182			
資産減耗費	360			
(2) 医業外費用	13,053			
(うち支払利息)	492	0.1	1.4	1.3
(3) 特別損失	1,526			
損益				
経常損益	-64,272			
純損益	-65,798			
累積欠損金	182,562			
経常収支比率	89.0		97.7	96.7
医業収支比率	73.0		88.1	63.9
他会計繰入金対経常収益比率	29.1		12.3	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	36.2		14.5	54.2
他会計繰入金対総収益比率	29.1		12.4	34.7
実質収益対経常費用比率	63.1		85.7	64.2

備考：「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	551,506
1 固定資産	376,151
(1) 有形固定資産	376,101
(2) 無形固定資産	50
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	175,355
(1) 現金及び預金	118,642
(2) 未収金及び未収収益	50,426
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	6,287
3 繰延資産	-
負債合計	170,294
1 固定負債	59,228
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	59,228
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	44,557
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,928
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	20,748
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	12,837
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	66,509
(1) 長期前受金	210,908
(2) 長期前受金収益化累計額()	144,399
資本合計	381,212
1 資本金	563,774
2 剰余金	-182,562
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-182,562
負債・資本合計	551,506
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	150,696	150,696
資本勘定繰入	9,162	9,162
計	159,858	159,858

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	43.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	鹿児島県
				市町村・組合名	公立種子島病院組合
				病院名	公立種子島病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透I		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	6,126 m ²	指定病院の状況	救感輪		
診療科数	8	看護配置	15:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	60	60.3	66.0	63.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	2	-	-	-
計	62	58.4	63.9	61.1
平均在院日数(一般病床のみ)		19.6	21.4	25.6

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	-	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	-	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	77.9
修正医業収益(千円)	617,738

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	830,260			
1 経常収益	830,260			
(1) 医業収益	654,032			
入院収益	314,034			
外来収益	279,693			
診療収入計	593,727			
その他医業収益	60,305			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	176,228			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	100,831			
(うち長期前受金戻入)	73,350			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	848,845			
2 経常費用	848,845			
(1) 医業費用	793,389			
職員給与費	483,540	73.9	55.7	72.6
材料費	93,794	14.3	24.7	15.8
(うち薬品費)	45,391	6.9	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	48,403	7.4	11.0	5.6
減価償却費	76,554	11.7	9.0	11.1
経費	137,281	21.0	23.3	31.9
(うち委託料)	74,585	11.4	11.5	13.0
研究研修費	2,220			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	55,456			
(うち支払利息)	28,986	4.4	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-18,585			
純損益	-18,585			
累積欠損金	660,823			
経常収支比率	97.8		97.7	97.4
医業収支比率	82.4		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	16.5		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	21.0		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	16.5		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	81.7		85.7	74.2

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,981,121
1 固定資産	1,822,014
(1) 有形固定資産	1,821,863
(2) 無形固定資産	151
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	159,107
(1) 現金及び預金	21,440
(2) 未収金及び未収収益	131,675
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	5,992
3 繰延資産	-
負債合計	1,965,543
1 固定負債	1,372,324
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,343,988
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	25,789
(7) リース債務	2,547
2 流動負債	168,685
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	100,426
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	1,389
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	66,870
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	424,534
(1) 長期前受金	849,757
(2) 長期前受金収益化累計額()	425,223
資本合計	15,578
1 資本金	609,880
2 剰余金	-594,302
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-594,302
負債・資本合計	1,981,121
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	131,012	137,125
資本勘定繰入	88,598	144,342
計	219,610	281,467

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	101.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。